

令和2年8月27日

院内がん登録実務者 各位

日頃よりがん登録を通じたがん政策にご協力賜り、ありがとうございます。

さて、先般周知したとおり、院内がん登録では2020年症例からICD-O-3.2を採用しますが、それに伴う2020年症例からの登録ルールに周知事項がありますので、お知らせいたします。

また、その他の登録ルールについても周知事項がありますので、併せてお知らせいたします。

がん登録実務者の皆様におかれましては、下記の内容をご確認いただき、2020年症例における自施設でのがん登録実務に反映いただくよう、お願いいたします。

記

【ICD-O-3.2 採用に伴う 2020 年症例からの登録ルール周知事項】

1. がん登録独自コードの一部廃止について

- ・ ICD-O-3.2 の採用に伴い、3.1 版まで使用していた本邦のがん登録独自コードのうち、「9599/3」「9988/3」を廃止する。
 - ICD-O-3.1 で 9599/3 を付与していた疾患「B 細胞性リンパ腫, NOS」は、ICD-O-3.2 においては、9591/3 を用いる。
 - ICD-O-3.1 で 9988/3 を付与していた疾患「MDS に続発した急性白血病」は、ICD-O-3.2 においては、9895/3 を用いる。
- ・ 「8540/2」「8542/2」は廃止せず継続使用とする。

2. GIST の登録について

- ・ Gastrointestinal stromal tumor (GIST；消化管間質腫瘍) について、ICD-O-3.2 において性状コード「/0」「/1」が廃止され「/3」のみとなったが、GIST の登録については、2020 年症例でも、2019 年症例までのルールである【偶発的に発見し、その後加療しない GIST は登録対象外】を継続とする。

3. 胸腺腫、褐色細胞腫／傍神経節腫、神経内分泌腫瘍の登録について

- ・ ICD-O-3.2 において、以下の疾患については「/0」「/1」が廃止され「/3」のみとなった。
 - 胸腺腫 (8580)
 - 褐色細胞腫 (8700)
 - 傍神経節腫 (8680, 8681, 8682, 8690, 8691, 8692, 8693)
 - 神経内分泌腫瘍 (8150, 8151, 8152, 8153, 8155, 8156, 8158, 8240, 8242, 8249)

- ・ しかし以下の腫瘍については、ICD-O-3.2 において性状が「/0」または「/1」であるため、これらについては悪性と診断されていない限り、登録対象外となるので、留意すること。
 - 8580/0 Microscopic thymoma (顕微鏡的胸腺腫)
 - 8580/0 Thymoma, benign (胸腺腫, 良性)
 - 8580/1 Micronodular thymoma with lymphoid stroma (リンパ性間質を伴う小結節性胸腺腫)
 - 8683/0 Gangliocytic paraganglioma (神経節細胞傍神経節腫)

4. 8077/2 が示す疾患の登録について

- ・ 8077/2 に新たに追記された下記疾患は、引き続き登録対象外とする。
 - Squamous intraepithelial neoplasia, grade II (扁平上皮内腫瘍, グレード 2)
 - High-grade squamous intraepithelial lesion (HSIL; 高異型度扁平上皮内病変)
 ※ HSIL について、2019 年症例までのルール同様、HSIL のみの診断では登録対象とせず、CIN3 等、高異型度病変 (Grade 3) が併記された場合に登録対象とする。

5. Endometrioid intraepithelial neoplasia (類内膜上皮内腫瘍) / Atypical hyperplasia of endometrium (子宮内膜異型増殖症) について

- ・ 上記は通常子宮内膜に発生する腫瘍であり、ICD-O-3.2 での形態コードは 8380/2 だが、子宮内膜上皮内癌同様※、登録対象外とする。
 - ※ 子宮内膜の上皮内癌については、漿液性子宮内膜上皮内癌を除き 2018 年症例から登録対象外としているが、2020 年症例についても変わらず登録対象外とする。

6. Serous borderline tumor-micropapillary variant (微小乳頭状パターンを伴う漿液性境界悪性腫瘍) (8460/2) について

- ・ ICD-O-3.2 で新設された疾患及び形態コードであり、通常、卵巣に発生する。
- ・ 疾患名に“borderline (境界悪性)”とあるが、悪性度が比較的高いことから性状「/2」とされており、院内がん登録においても、2020 年症例から登録対象とする。
- ・ なお登録時の T 分類は腫瘍の広がりに応じて T1a 以上を付与し、進展度については性状コード「/2」であることから上皮内癌とする。

7. Chondrosarcoma (軟骨肉腫), grade 1 (ICD-O-3.2; 9222/1) の登録について

- ・ ICD-O-3.1 では、Chondrosarcoma, NOS として 9220/3 に含まれていたが、ICD-O-3.2 では grade1 が 9222/1 に分離された。
- ・ 3.2 版で「/3」から「/1」に変更されたものについては、2020 年症例において引き続き登録対象とすることから、本来、2020 年 1 月 28 日付けの周知文「ICD-O-3.2 への移行に伴う院内が

ん登録上の登録範囲について」内、別表 1 に Chondrosarcoma, grade1 が記載されるべきであったが、抜けていたため 8 月 21 日付けで表内に追記した*。

※ 院内がん登録支援サイトトップページー国際疾病分類腫瘍学第 3.2 版 院内がん登録実務用、「ICD-O-3.2_登録対象範囲について」PDF ファイルをご確認ください。

【その他、登録ルールに関する周知】

8. 上気道悪性黒色腫 T3（上皮内）の進展度について

- ・ 上皮内にとどまる上気道悪性黒色腫において、形態コードは 8720/2 となり、T 分類は「T3:上皮および/または粘膜下（粘膜病変）に限局する腫瘍」となる。
- ・ 進展度については、従来の「進展度・UICC TNM 対応表」では、T3 のとき、一律に進展度“限局”としていたが、2020 年症例からは、上皮内にとどまる上気道悪性黒色腫（性状コード「/2」）では、進展度“上皮内”とする。
- ・ 進展度・UICC TNM 対応表については、下記を確認のこと。

https://ganjoho.jp/reg_stat/can_reg/hospital/info/manual.html

9. Follicular lymphoma（ろ胞性リンパ腫） grade1-2 の形態コードについて

- ・ Follicular lymphoma は、その悪性度によって形態コードが異なる。
 - 9691/3 Follicular lymphoma, grade 2（濾胞性リンパ腫，悪性度 2）
 - 9695/3 Follicular lymphoma, grade 1（濾胞性リンパ腫，悪性度 1）
 - 9698/3 Follicular lymphoma, grade 3（濾胞性リンパ腫，悪性度 3）
- ・ Follicular lymphoma に関する近年の分類の一つに、grade1 と 2 を区別せず、grade1-2 とまとめて標記する、というものがあるが、ICD-O-3.2 では grade1-2 に対応する形態コードがない。
- ・ そのため、2020 年症例から、Follicular lymphoma, grade1-2 と診断された場合の形態コードを「9695/3」とし、組織型テキストには、他の疾患同様、診断名（Follicular lymphoma, grade1-2）を記載とする。

10. High-grade appendiceal mucinous neoplasm（HAMN）（高異型度虫垂粘液腫瘍）について

- ・ 近年新たに定義された比較的悪性度の高い振る舞いをする疾患であるが、ICD-O-3.2 では未掲載である。
- ・ 2020 年症例から本疾患を登録対象とし、形態コードと T 分類を以下のように登録する。
 - 粘膜固有層までの浸潤：形態コード＝8480/2（ルール F）、T 分類＝Tis
 - 粘膜下層以深の浸潤：形態コード＝8480/3、T 分類＝T1 以上（深達度に応じて分類）

以上

国立がん研究センターがん対策情報センター
がん登録センター院内がん登録室
室長 塚田庸一郎

<上記内容に関する問い合わせ先>

担当：江森、前田、高橋

ncc_hcr@ml.res.ncc.go.jp